

科目名	合唱 I・III・V・VII B, D	形態	演習	開講期	春学期
担当教員	荻野 砂和子	単位	1	年次	1, 2, 3, 4

＝授業科目の目標＝

たくさんの人が集まって創り出すハーモニーの魅力を味わい、アンサンブル力を身に着ける。同時に、体を使って声を出すことにより、自己表現の一つの方法を習得する。

毎回のハーモニー練習により、合唱での声の響きに耳を傾け、聴き合う能力を身に着けたい。

＝履修の条件と学習の方法＝

楽譜を持参すること。隣の人に見せてもらうことは不可。持参しない場合は出席できません。

原則としてコピー譜は不可ですが、自分の楽譜を忘れた場合、授業で使う部分をコピーして持参することは許可します。必ず予習してくる。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。パート分け
- 2回 若返りの水 前半は男女別練習、パートに分かれて音程、リズムの確認、その後アンサンブル
- 3回 若返りの水 アンサンブル練習 1回目
- 4回 若返りの水 アンサンブル練習 2回目
動物たち 男女別練習
- 5回 動物たち アンサンブル練習 1回目
若返りの水 歌い込み
- 6回 でんせつ 男女別練習
動物たち アンサンブル練習 2回目
- 7回 でんせつ アンサンブル練習 1回目
動物たち 歌い込み
- 8回 履修曲3曲を少人数にグループ分けの上発表、批評し合う
- 9回 鬼とおじいさん 前半は男女別練習
でんせつ 歌い込み
- 10回 鬼とおじいさん アンサンブル練習 一回目
雪の降る夜 男女別練習
- 11回 鬼とおじいさん アンサンブル練習 2回目
雪の降る夜 アンサンブル練習 1回目
- 12回 鬼とおじいさん 歌い込み
雪の降る夜 アンサンブル練習 2回目
- 13回 後半履修曲2曲をグループ別発表
- 14回 全曲から課題を決め、
- 15回 選択した箇所を一人ずつ（グループで）練習し発表

＝成績評価の方法と評価の基準＝

授業内に行う一人ずつ（グループ別）の発表で習熟度を見ます。

演習の授業形態なので出席状況を大いに考慮します。

＝テキスト（必携）＝

混声合唱組曲

混声合唱とピアノのための「民話」

作曲 鈴木寛夫

出版社：カワイ出版